

フォトフェスタ2007

第23回東川町国際写真フェスティバル

写真の催し・どんとこい祭りに人出3万人のにぎわい

涙と汗、そして感動の写真甲子園。「フォトフェスタ2007」第23回東川町国際写真フェスティバルのメイン行事、東川賞の授賞式。7月24日から同月29日まで6日間、町内は写真の催しと夏祭りにぎわい一色に染まりました。数え切れない感動を残して終えた写真甲子園は、沖縄県立真和志高校が2年連続3回目の優勝。常連校の賞状と実力を見せ付けてくれました。期間中の後半、28、29の両日同時開催したどんとこい祭りには、旭川市内からも家族連れがどっと繰り出し、延べ3万人を超す人出。露店の賑わいと盛夏の夜空を焦がした3千発の花火の競演に酔いしれました。

2007フォトフェスタ、

第23回東川町国際写真フェスティバルは、7月24日から29日まで6日間、盛夏の祭りにぎわいました。

前半の第14回写真甲子園、後半の東川賞授賞作品展の開

催を中核にして、さまざまな写真の催しとどんとこい祭りの2部構成。

メインの写真の催しは28日、東川賞の授賞式、文化ギャラリーで開幕した受賞作家展のテープカットで幕を開けました。

今年の受賞者、海外作家賞のマニツト・スリワニチブーン氏、国内作家賞の杉浦邦恵氏、新人賞の今岡昌子氏、特別賞の山田博之氏の4人が来町。続いて農村環境改善センターで授賞を祝う集いを開き、各氏が受賞に当たって作品に込めた思いなど



を披露しました。

関連の催しは多彩。路上写真展・ストリートギャラリー、写真インディペンデンス展に

出展した新人写真家や写真学生

の作品にアドバイスする「ニコニコナ21ポートフォリオレビュー」や「写真インディペンデンス展合評の集い」、東川賞受賞者4人を囲んだギャラリートーク「彼方へのまなざし」は、現代写真最先端の写真思想が分かる講座の数々でした。

家、藪乃理子さん(26)がグランプリを獲得しました。

ほかに南米エクアドルから来町したフォーク・ロアのグループ「SAY」の調べに乗せて写真甲子園

フォトフェスタの出場校作品を振り返った「写真と音楽のコラボレーションI」、町内のプロ写真家、奥田實氏とピアニスト、辻純子氏が音楽と語り合いのハーモニーで生み出した「写真と音楽のコラボレーションII」、町内4軒の農家が会場となったファーム・ギャラリーなど催し満載。

写真の知識がなくても楽しめる露店や、家族写真を撮ってプレゼントした「思い出写真館N-J」も大盛況でした。



第2回ストリートギャラリー・フォトコンテスト審査結果

	名前	年齢	所属	住所	タイトル
グランプリ	藪 乃理子	26	フリー	東京都豊島区	なし
準グランプリ	飯沼 珠実	23	多摩美術大大学院	東京都渋谷区	Real estate
	岩岡 未来	25	東京ビジュアルアーツ	東京都杉並区	あいまい とときき ふたしか
	岩城 文雄		フリー	東京都八王子市	スヌム・スヌム

↑ストリートギャラリー・フォトコンテストで優勝した藪さん